

会計課 目標

【概要】

会計課は、会計課長を兼務する会計管理者と出納係3名で構成し、金銭・物品の出納、資金運用、県収入証紙の売り捌きなどを行なっています。

会計課の目標（令和6年度）	会計管理者
【基本方向】 職員の会計事務能力の向上を目指しながら、会計事務の見直しや効率化を進めます。また、公金の安全かつ確実な運用を行うとともに適正で円滑な資金管理を実施します。	
【達成すべき目標】 1 指定金融機関等の検査の実施 指定金融機関に対して、公金の収納や支払等の事務が適正に処理されているかを確認するため、実地検査を行います。 また、収納代理金融機関については、書面にて検査を実施します。 2 職員の会計事務能力の向上 会計事務マニュアルを基本に、新規職員等を対象とした会計事務研修会を実施し、職員のスキルアップを目指します。 また、会計課職員が課内業務全般に精通し、少ない職員でも事務が安定的に行われるよう工夫・調整します。 3 会計事務の見直し 適正な会計事務となるよう、会計事務マニュアルを精査し更新します。 4 公金の適正管理及び効率的な運用 例年データの活用や各課からの歳入・歳出予定表を用いて的確な資金収支を見通し、適正に管理していきます。 また、少しでも効率的な運用が出来るよう、活用方法を検討します。	【目標の達成度】 1 指定金融機関等の検査の実施 指定金融機関を含めた5金融機関の実地検査及び6金融機関の書面検査を「富津市指定金融機関等実施要項」に基づき実施し、公金の適正な取り扱いを確認しました。 2 職員の会計事務能力の向上 10月30日に新規採用職員等を対象に、適切な会計事務の習得を目指した会計事務研修会を実施しました。参加人数は32人、アンケート調査では概ね内容が理解でき有益であったとの回答が多数でした。 3 会計事務の見直し 上記の研修会では、マニュアルの内容については特に意見はありませんでした。現マニュアルはある程度理解しやすいと考えますが、今後も会計事務の変化を捉えながらより分かりやすいマニュアルに更新していきます。 4 公金の適正管理及び効率的な運用 細かな情報収集により、概ね適切に資金収支の見込みを行うことができました。 効率的な運用については、研修等受講しながら研究しましたが、市の収支見込等を勘案し実施にはいたりませんでした。